

製品名: ADI1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06631**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ADI1 1,2-dihydroxy-3-keto-5-methylthiopentene dioxygenase (EC 1.13.11.54; Acireductone
別名	dioxygenase (Fe(2+)-requiring); ARD; Fe-ARD; Membrane-type 1 matrix metalloproteinase cytoplasmic tail-binding protein 1; MTCBP-1; Submergence-induced protein-like factor; Sip-L)
遺伝子 ID	55256.0
SwissProt ID	Q9BV57
免疫原	抗血清はヒト ADI1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

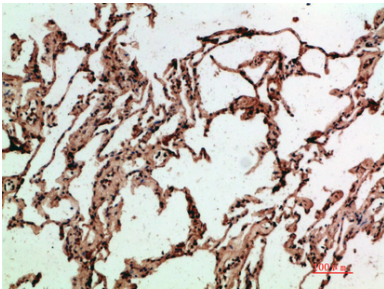
背景

この遺伝子は、メチオニンサルベージに関与する金属結合酵素のアシルダクトンジオキシゲナーゼファミリーに属する酵素をコードしています。この酵素は核内での mRNA プロセッシングを制御し、その局在に応じて異なる機能を実行する可能性があります。関連する擬似遺伝子は、8 番染色体と 20 番染色体上に定義されています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2015 年 4 月], 補因子: モノマーあたり 1 つのニッケルイオンに結合します。他の二価金属カチオンも使用できます。機能: アシルダクトンジオキシゲナーゼ (ARD) 活性を持ち、5-メチルチオアデノシン (MTA) メチオニンサルベージ経路で機能できます。MMP14 を介した細胞遊走をダウンレギュレーションします。そうでなければ許容されない細胞株における C 型肝炎ウイルスの複製に必要です。経路: アミノ酸生合成; サルベージ経路による L-メチオニン生合成; (S)-メチル-5-チオ- α -D-リボース 1-リン酸からの L-メチオニン: ステップ 5/6。類似性: アシルダクトン ジオキシゲナーゼ (ARD) ファミリーに属します。サブユニット: MMP14 と相互作用します。組織特異性: 心臓、結腸、肺、胃、脳、脾臓、肝臓、骨格筋、腎臓で検出されます。、

研究分野

システインおよびメチオニン代謝

画像データ



パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された